

# 広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務(本島地区H24-1)

## 本 島 地 内

- ①土質調査報告書
- ②土地調書
- ③工事数量算出用数量計算書
- ④赤土等流出防止対策関係資料

平成 24年 6月

沖縄県知事公室防災危機管理課  
上城技術情報株式会社

## 目 次

	頁
1.調査概要 .....	1-1
2.地形・地質概要 .....	2-1
3.調査結果 .....	3-1
3.1 ボーリング調査結果 .....	3-1
3.2 土質定数 .....	3-14
3.3 床掘りについて .....	3-18
3.4 赤土等流出防止対策について .....	3-19
【 資料編 】	
• 調査平面図 .....	1
• 推定土層断面図 .....	5
• ボーリング柱状図 .....	19
• ボーリングコア写真 .....	39
• 調査状況写真 .....	50
• 磁気探査報告書 .....	89

## 1.調査概要

### 1.1 調査の一般項目

業務名 : 広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務(本島地区H24-1)

調査地 : 沖縄県本島地内

調査内容 : a) 機械ボーリング (ロータリー式  $\phi 66\text{mm}$ ) 計71.0m/19箇所

b) 標準貫入試験 JIS A 1219 計71回

c) 資料整理とりまとめ 1式

d) 断面図等の作成 1式

e) 平坦地足場仮設 19箇所

f) 磁気探査

水平探査 計19.0m<sup>2</sup>/19箇所

鉛直探査 計52.0m/19箇所

目的 : 本業務は「広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務(本島地区H24-1)」に伴い、計画敷地内の地層構成・土質性状を把握すると共に、不発弾埋没深度を推定した。その結果より、不発弾探査深度を設定し、床掘り時の基礎資料を得るために実施した。

調査期間 : 自) 平成 24 年 4 月 25 日

至) 平成 24 年 6 月 15 日

発注者 : 沖縄県知事公室 防災危機管理課

受注者 : 上城技術情報 株式会社

沖縄県宜野湾市嘉数二丁目18番20号

Tel098-870-2227 Fax098-870-2230

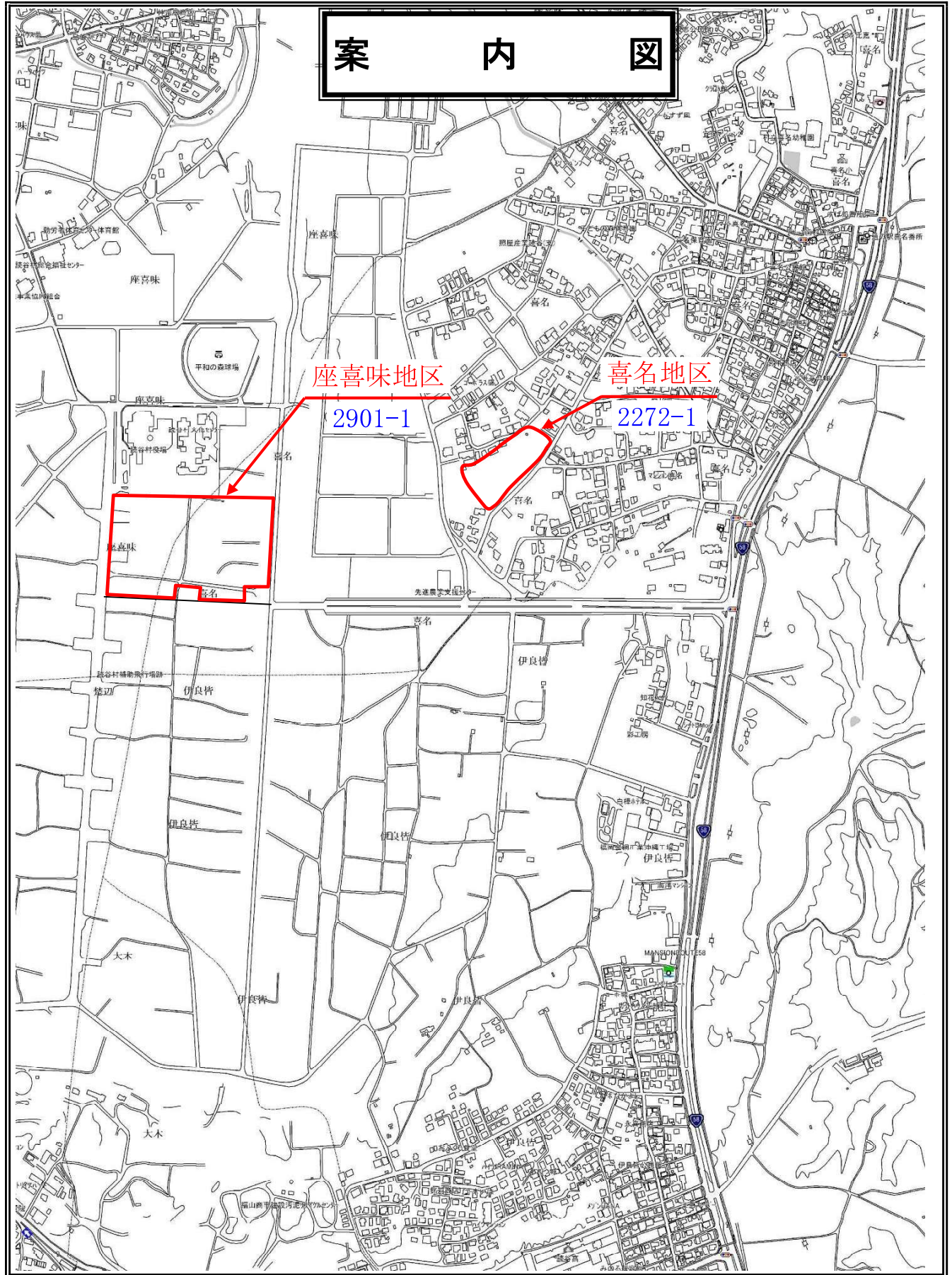
表1.1.1にボーリング調査実施数量表、表1.1.2にボーリング孔の標高・座標および緯度・経度を示す。

表1.1 ボーリング調査実施数量表

調査孔 No.		試錐長 (m)	層別試錐長 (m)			標準貫入試験 (回)		
			粘性土	礫質土	軟 岩	粘性土	礫質土	軟 岩
読谷村字座喜味地区	座喜味H24B-1	4.00	1.80	2.20	—	1	3	—
	座喜味H24B-2	4.00	2.50	1.50	—	2	2	—
	座喜味H24B-3	3.00	1.30	1.70	—	1	2	—
	座喜味H24B-4	4.00	4.00	—	—	4	—	—
	座喜味H24B-5	4.00	1.80	2.20	—	1	3	—
	座喜味H24B-6	4.00	1.00	3.00	—	—	4	—
	座喜味H24B-7	4.00	1.30	2.70	—	1	3	—
	座喜味H24B-8	4.00	0.50	3.50	—	—	4	—
	座喜味H24B-9	4.00	1.00	3.00	—	—	4	—
	座喜味H24B-10	3.00	1.10	1.90	—	—	3	—
	座喜味H24B-11	4.00	0.30	3.70	—	—	4	—
	座喜味H24B-12	4.00	2.90	1.10	—	2	2	—
	座喜味H24B-13	4.00	2.60	1.40	—	2	2	—
読谷村字喜名地区	喜名H24B-1	2.00	1.00	1.00	—	—	2	—
	喜名H24B-2	4.00	1.00	3.00	—	—	4	—
	喜名H24B-3	4.00	1.50	2.50	—	1	3	—
	喜名H24B-4	4.00	2.00	2.00	—	1	3	—
	喜名H24B-5	3.00	1.70	1.30	—	1	2	—
	喜名H24B-6	4.00	2.00	2.00	—	1	3	—
合 計		71.00	31.30	39.70	0.00	18	53	0

表1.2 ボーリング孔の標高・座標および緯度・経度

調査孔 No.		標高 EL (m)	座標(世界測地系)		緯度・経度	
			X座標	Y座標	北緯	東経
読谷村字座喜味地区	座喜味H24B-1	73.38	43657.989	24316.859	26° 23' 38.0003"	127° 44' 37.4102"
	座喜味H24B-2	72.98	43715.167	24317.206	26° 23' 39.8583"	127° 44' 37.4266"
	座喜味H24B-3	73.18	43773.603	24317.480	26° 23' 41.7572"	127° 44' 37.4405"
	座喜味H24B-4	73.07	43715.096	24377.505	26° 23' 39.8523"	127° 44' 39.6023"
	座喜味H24B-5	73.22	43651.134	24402.164	26° 23' 37.7723"	127° 44' 40.4877"
	座喜味H24B-6	72.28	43774.360	24408.064	26° 23' 41.7763"	127° 44' 40.7090"
	座喜味H24B-7	72.94	43683.750	24448.188	26° 23' 38.8293"	127° 44' 42.1506"
	座喜味H24B-8	72.35	43799.492	24458.308	26° 23' 42.5898"	127° 44' 42.5237"
	座喜味H24B-9	72.42	43720.247	24519.863	26° 23' 40.0109"	127° 44' 44.7393"
	座喜味H24B-10	72.96	43644.884	24488.582	26° 23' 37.5639"	127° 44' 43.6054"
	座喜味H24B-11	72.06	43771.870	24497.389	26° 23' 41.6898"	127° 44' 43.9319"
	座喜味H24B-12	72.06	43717.080	24587.473	26° 23' 39.9038"	127° 44' 47.1786"
	座喜味H24B-13	71.95	43769.302	24589.804	26° 23' 41.6006"	127° 44' 47.2663"
読谷村字喜名地区	喜名H24B-1	67.98	43802.667	25015.428	26° 23' 42.6581"	127° 45' 02.6261"
	喜名H24B-2	68.00	43842.262	25003.419	26° 23' 43.9455"	127° 45' 02.1956"
	喜名H24B-3	67.69	43831.523	25056.260	26° 23' 43.5932"	127° 45' 04.1015"
	喜名H24B-4	67.58	43861.763	25071.626	26° 23' 44.5749"	127° 45' 04.6581"
	喜名H24B-5	66.95	43871.923	25113.426	26° 23' 44.9024"	127° 45' 06.1670"
	喜名H24B-6	66.79	43895.662	25121.141	26° 23' 45.6734"	127° 45' 06.4471"



## 1.2 調査方法

### a) 機械ボーリング

ロータリー式ボーリングはロッドの先端に取り付けたビットの回転と給圧により、土や岩を掘削した。

掘削孔径はφ66mmとし、孔壁の崩壊の恐れがある箇所は、ケーシングパイプで孔壁を保護しながら掘り進めた。

掘進作業中は掘進能率の向上に努め、スライムやコアは観察し、柱状図に記載した。

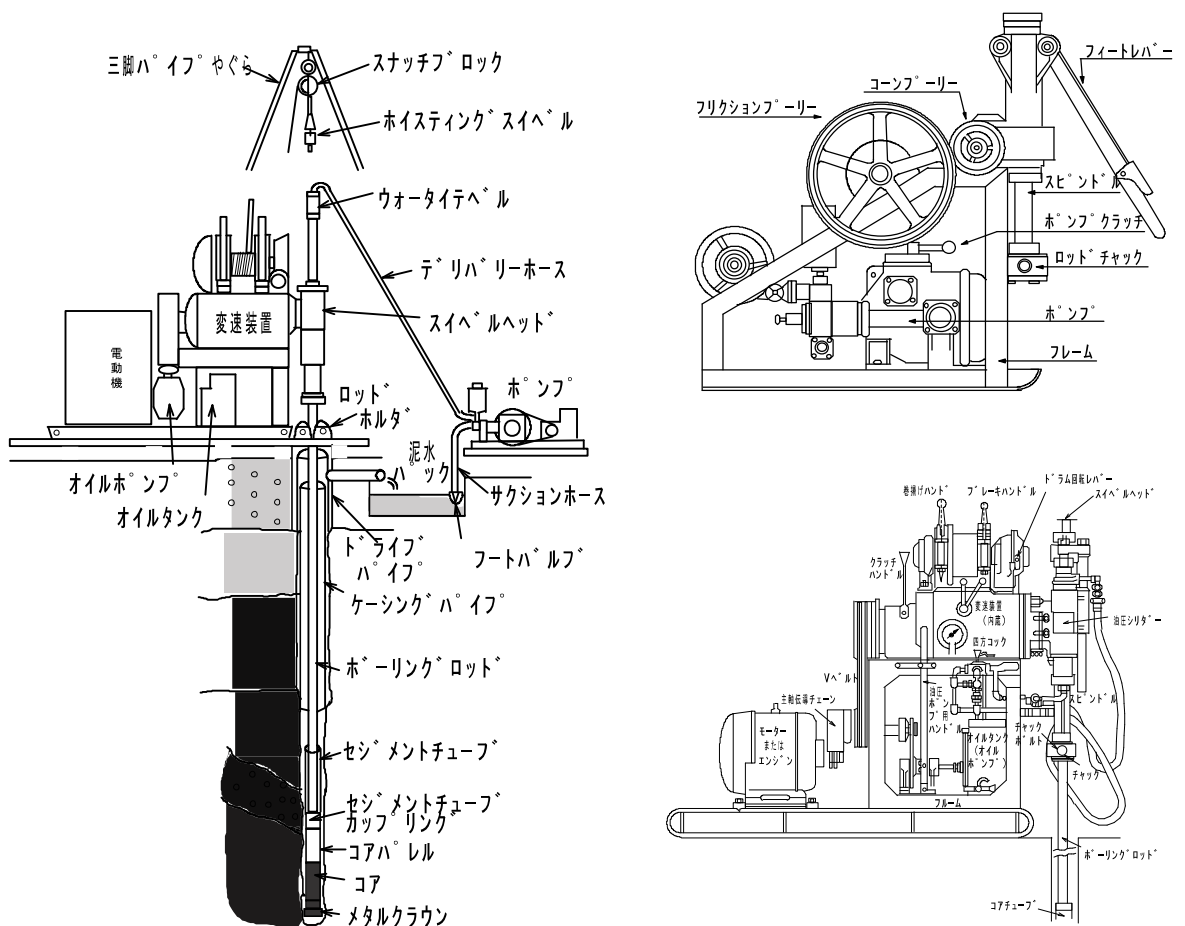


図1.2.1 機械ボーリング概略図

## b) 標準貫入試験

試験方法の主な順序は次のとおりである。

- 1) 試験実施深度まで、ボーリング孔を掘削する。
- 2) ボーリング孔底のスライムを除去する。
- 3) 標準貫入試験用サンプラーをロッドに接続し、静かに孔底に下ろす。
- 4) ロッドの上部にノッキングヘッドとガイド用ロッドを付ける。
- 5) ハンマー打撃によって15cm予備打ち、30cm本打ち(ハンマーを正確に75cm自由落下させる)、約5cm後打ちを行う。
- 6) 本打ちでは、打撃1回毎の累計貫入量10cm毎の打撃数を記録する。打撃回数は50回を限度とし、その時の貫入量を記録する。
- 7) サンプラーを引き上げ、スプリットバーレルを2つに割り、採取試料を観察する。
- 8) 代表的な試料を透明な容器に密封し、必要事項を記入したラベルを貼って保管する。

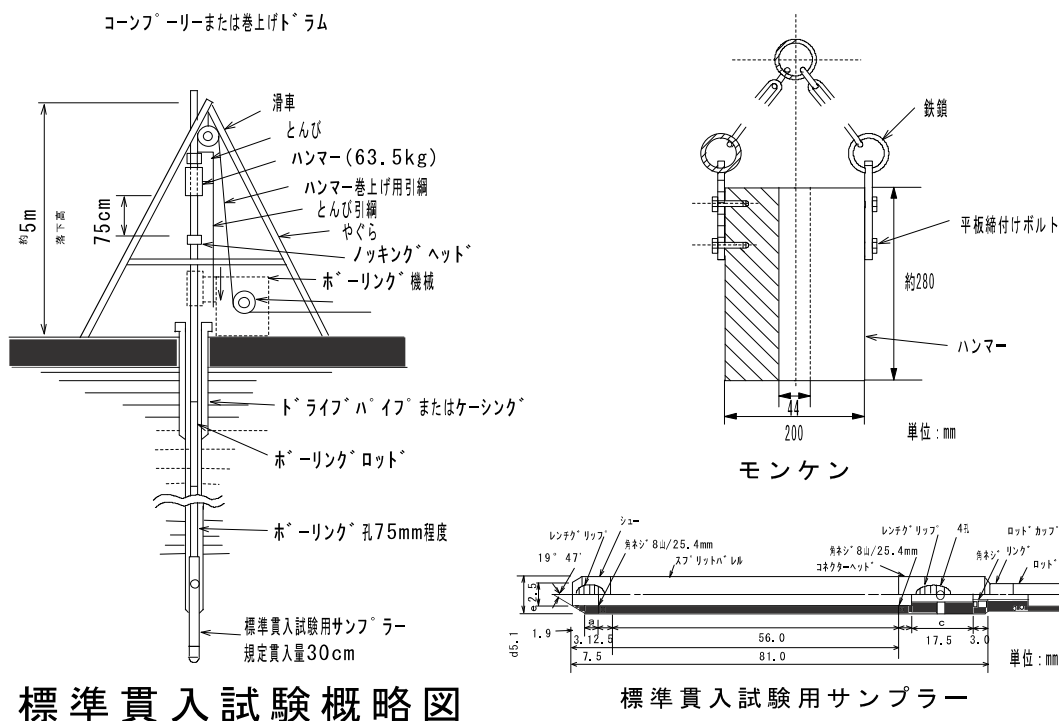


図1.2.2 標準貫入試験装置図



## c) 磁気探査の方法

探査において先ず、水平(表層)探査によりボーリング点の安全を確認した後に地質調査と並行して鉛直探査を行った。

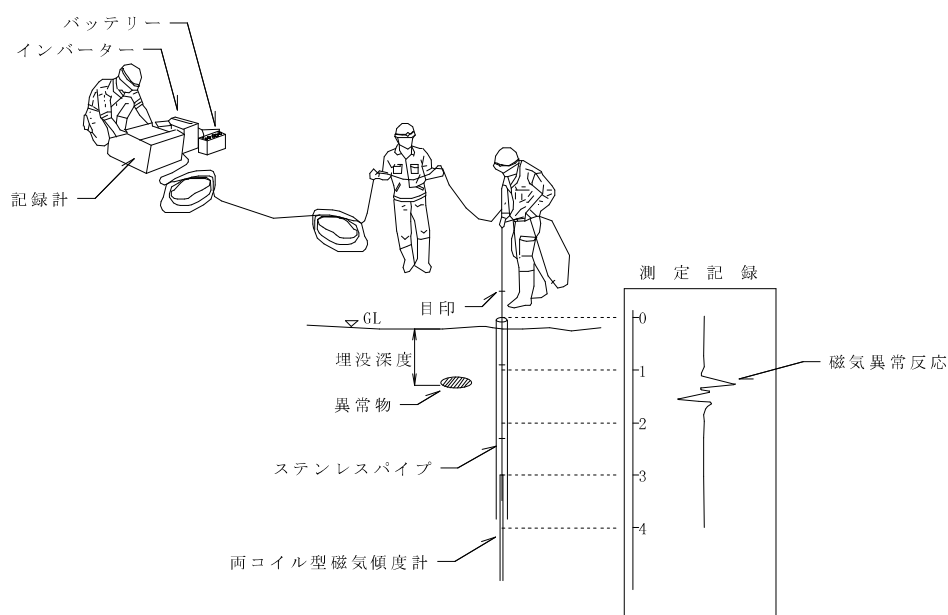
鉛直磁気探査は、探査孔を鉛直に削孔し、その中に磁気傾度計を挿入して地下の深い所まで磁性体の有無を検知することであり、削孔の安全を確保する為に、0.5m/毎ごとに探査～削孔作業を繰り返した。

探査の方法は、まずボーリング孔の孔壁を保護する為、1.0m 切りのガイドパイプ(ステンレスパイプ)をケーシングとして挿入し、その中に磁気傾度計を同速度で吊下げ又は、吊上げて磁気傾度計を 0.5m ピッチで計画深度まで探査を繰り返した。その後、1.0m ピッチで連続的に記録を測定した。

探査記録測定と現地深度の関係は、探査センサ先端を基点にセンサー及びセンサーコードに 1.0m ピッチの印を付け、測定中に探査孔口(地表)を横切ると同時に記録紙にマークを入れ、現地異常と記録紙が照合出来る様にした。(鉛直探査状況図参照)

磁気異常の判断については、異常なしの場合ほとんど直線状態の波形に対し、異常検出の場合は、波形の振幅が検出され、これを解析し異常反応物の埋没深度・探査孔から異常物までの距離・磁気量等が計算される。

図 1.2.3 鉛直探査状況図



## 2.地形・地質概要

調査地を含む沖縄本島中部の地形および地質は次のようである。

中部地区は、恩納村仲泊から石川市へ至る石川地峡以南と那覇市首里から与那原町へ至る首里断層以北の区間である。

その地形的特徴は、石川地峡以南の古期基盤岩類で構成される読谷岳(標高236m)を中心に、標高約80mで開析された丘陵地帯と北谷町・宜野湾市および浦添市の東シナ海側に発達する海岸段丘(標高100m以下)、うるま市具志川東部から沖縄市東部および北中城村から与那原町へ至る中城湾に面した丘陵地(標高100～130m)と、海浜低地に区分できる。

本調査地のある読谷村は、国道58号を境にして東側は標高約200mを頂点にし、南側に緩やかな丘陵地を形成している。

本調査地の座喜味地区は、先進農業支援地区であり、北は読谷村役場、南は中央残波線東は読谷道路に囲まれた地域である。喜名地区は、座喜味地区の東方約500mに位置する。

両地区共に、琉球石灰岩層が形成する中位段丘面(標高約65～75m)上にある。

中部地区の地質構成は、北谷町砂辺から嘉手納基地内を横断し、沖縄市北部の白川からうるま市天願に至る天願断層により、古期基盤岩類の分布地域と新第三紀島尻層群の分布地域に区分でき、上記の丘陵地帯と海岸段丘の地形変換点も同断層付近を境界としている。

天願断層以北の丘陵地帯は古期基盤岩類からなり、読谷村東部～うるま市石川南部、沖縄市北部では第四紀更新世の国頭礫層、次に同の琉球石灰岩層が堆積する層序である。

本調査地である読谷村字座喜味地区、喜名地区では、下位より第四紀更新世の琉球石灰岩層と琉球石灰岩風化粘土(島尻マーヅ)が全調査地点で確認された。

表2.1 沖縄島中南部の地質層序

時代	柱状図	地質区	岩相・構造	地形	土壌	
第 新 世		現世サゴ礁堆積物	サゴを主体とする固結・礫状部および礁池の粘土・シルト・砂・礫を主体とする軟弱部	サゴ礁地形	土壌化せず	
		新期砂丘砂層	石灰質砂層 埋設腐植土はさむ	砂丘	砂質未熟土	
		沖積層	暗灰～暗褐色泥・砂・礫。サゴ片などの海生化石を含む	沖積低地	灰色低地土壌(沖積土壌)	
第 四 紀		段丘石灰岩	褐色粘土質土 砂質石灰岩(礫石)固結し層理発達分布は南東に高く北西に低い	段丘(中位段丘) 60～5m	褐色土壌(黄褐色土)	
		赤褐色土	島尻マージ(石灰岩の風化土)	石灰岩台地(断層ブロックによって断層崖多し)	赤褐色～黄褐色粘土質土壌(島尻マージ)	
		琉球石灰岩	石灰岩は表層数～10mが再結晶作用を受ける。下部は層理発達し砂礫主体、固結部と砂礫状未固結部との互層あり。			
		知念砂層	石灰質砂層			
第 三 紀		島尻層群	新里層	砂岩(未～半固結)と泥岩(固結)の互層凝灰岩をはさむ	地形面なし 小起伏丘陵面および急傾斜面	灰色台地土壌(一部赤褐色土)(ジャマカ)
			与那原層	厚い泥岩に薄い砂岩と凝灰岩をはさむ		
			豊見城層	小礫砂岩が上部、泥岩が下部		

出典：木崎甲子郎編著、1985：琉球弧の地質誌、p109.

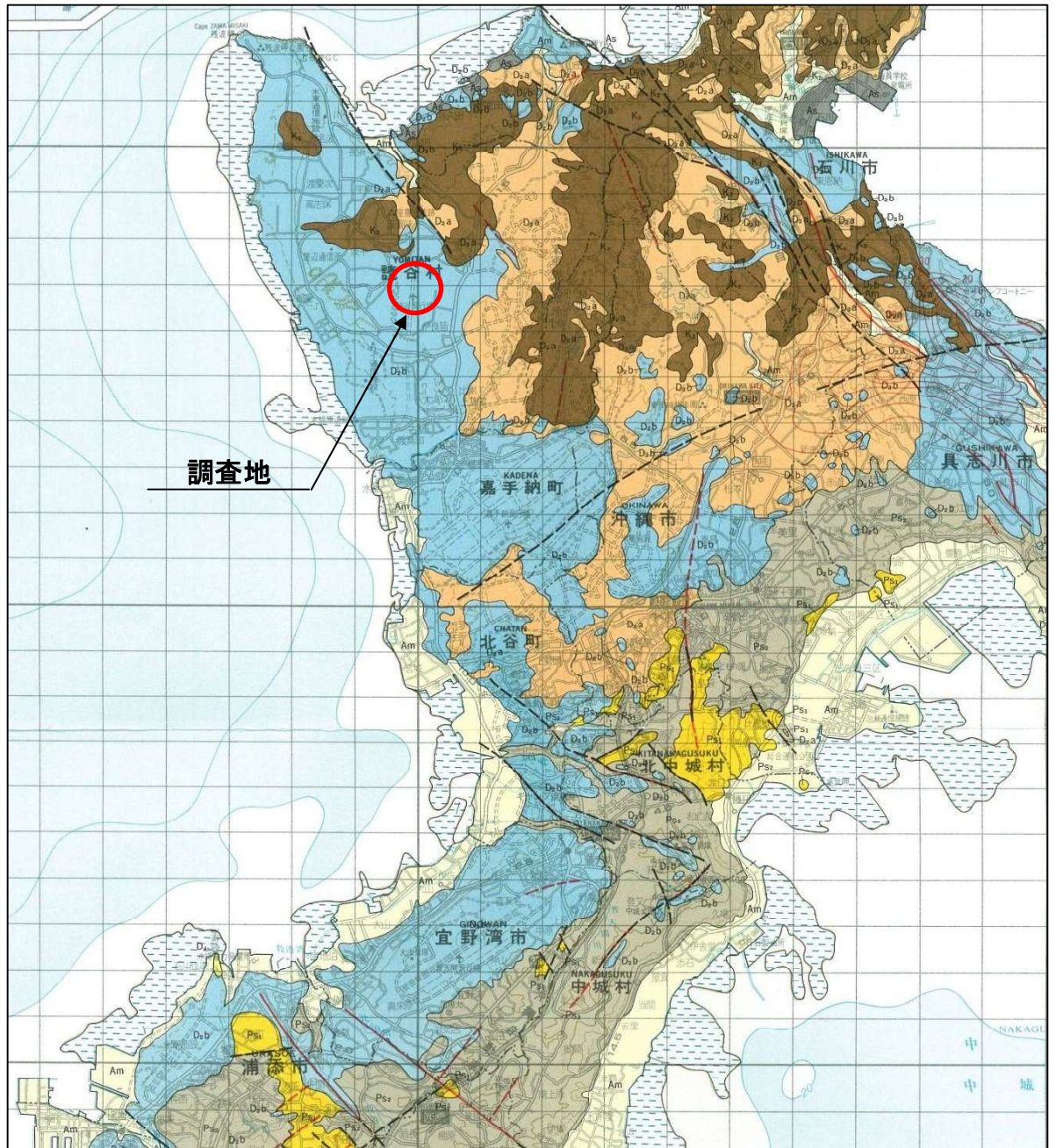


図2.1 調査地一帯の地質図

出典： (社) 全国国土調査会：土地保全図(沖縄県) 平成6年



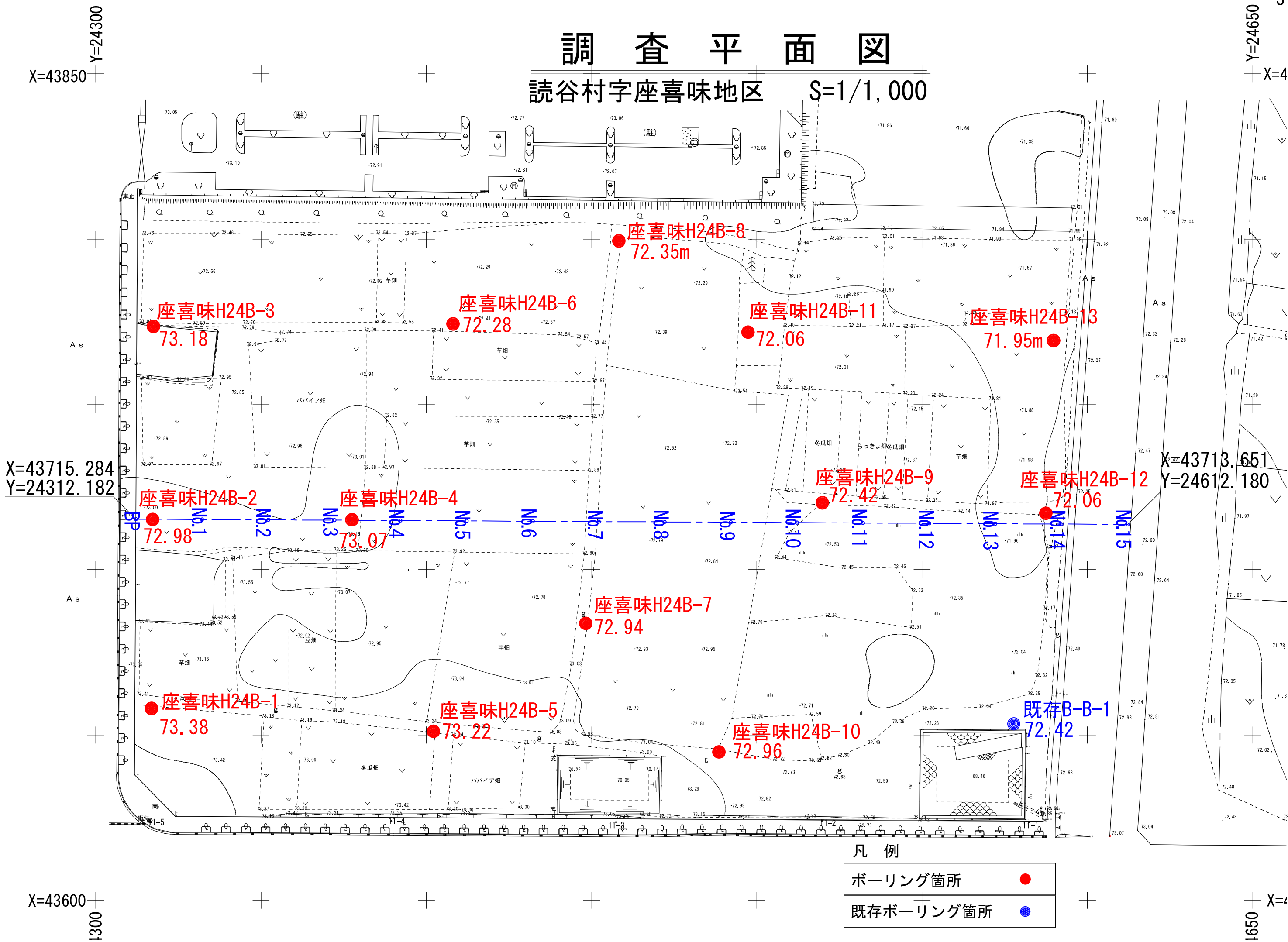
表2.2 地質図凡例一覧

第四紀 Quaternary	更新世 Holocene		現世サンゴ礁堆積物 (石灰質砂、礫) Recent Reef sediments (Calcareous sand & gravel)				
			As 海浜堆積物 (砂丘、ビーチロック etc.) Beach sediments (Sand dune, Beach rocks etc.)				
			Am 沖積層 (未固結砂・礫・シルト及び埋土・盛土) Alluvial deposits (Unconsolidated sand・gravel・silt & Landfill・Fillup ground)				
			Av 火山岩類 (安山岩、玄武岩) Volcanic rocks (Andesite & Basalt)				
	更新世 Pleistocene	琉球層群 Ryukyu group		Ds 段丘堆積物 (非石灰質; 低位段丘) Terrace deposits (Non-calcareous; Lower terrace)		Ds 旧期砂丘砂層 (多良間) Ancient dune sand (Tarama-jima)	
				D <sub>4</sub> 段丘石灰岩 (砂質石灰岩、礫石; 低位~中位段丘) Terrace limestone (Sandy limestone, "Awa-ishi"; Lower-middle Terrace)			
				D <sub>3</sub> 赤褐色土 (島尻マージ、大野越粘土層-宮古- etc.) Reddish brown clay (Shimajiri-maji, Ohnogoshi-clay etc.)			
				D <sub>2b</sub> 琉球石灰岩 (固結塊状石灰岩、砂礫状石灰岩; 中~高位段丘) Ryukyu limestone (Consolidated limestone & Gravelly limestone; Middle Terrace)			
				D <sub>2a</sub> 国頭礫層 (未固結粘土・砂・礫; 高位段丘) Kunigami Gravel bed (Unconsolidated clay・sand・gravel; Higher Terrace)			
				D <sub>1</sub> 砂岩層 (知念砂岩層、仲尾次砂岩層、ドナン層-与那国- etc.) Sandstone bed (Chinen sandstone, Nakaaji sandstone & Donan F. etc.)			
第三紀 Neogene	上新世 Pliocene	島尻層群 Shimajiri group		Pc 礫岩 (粗内礫岩) Conglomerate (Sonai Conglomerate)		Pv 火山岩類 (宇江城安山岩、粟国安山岩 etc.) Volcanic rocks (Ueshiro andesite & Aguni andesite)	
				Ps <sub>2</sub> 泥岩相 (新里層、泥岩を主) Mudstone facies (Shinzato F., Mainly mudstone)			
				Ps <sub>1</sub> 砂岩相 (豊見城層) Sandstone facies (Tomishiro F.)			
	中新世 Miocene	八重山層群 Yaeyama group		My <sub>5</sub> 砂岩層 Sandstone beds		Mv <sub>+</sub> 変質安山岩 (久米島)、流紋岩類 (石垣島) Altered andesite (Kume-jima) & Rhyolites (Ishigaki-jima)	
				My <sub>4</sub> 扶炭層 Coal-bearing bed			
				My <sub>3</sub> 砂岩・泥岩互層 Alternation of Sandstone & Mudstone		Mv <sub>1</sub> 酸性貫入岩類 (斑岩、閃緑岩)、花崗岩類 (石垣島) Acidic igneous rocks (Porphyries, Diorites) & Granites (Ishigaki-jima)	
				My <sub>2</sub> 砂岩-礫岩 Sandstone - Conglomerate			
				My <sub>1</sub> 砂岩層 Sandstone beds			
				My <sub>0</sub> 扶炭層 Coal-bearing bed			
				My <sub>-1</sub> 砂岩・泥岩互層 Alternation of Sandstone & Mudstone			
中生代 Mesozoic - Paleogene	国頭層群 Kunigami group		K <sub>4</sub> 砂岩層 (粘板岩を含む、嘉陽層の一部) Sandstone (with Phyllite, Kayoh F.)		Ls 石灰岩 (古大東石灰岩) Limestone (Older Daitoh limestone)		Nv 緑色火山岩類 (野底層) Green Volcanic rocks (Nosoko F.)
			K <sub>3</sub> 砂岩・粘板岩互層 Alternation of Sandstone & Slate (Kayoh F.)		Ke <sub>1</sub> 粘板岩 (慶良間層の一部) Slate (Kerama F.)		Mis 石灰岩、砂岩 (富良層) Limestone & Sandstone (Miyara F.)
			K <sub>2</sub> 片岩、千枚岩、砂岩 (名護層の一部) Slate, Phyllite & Sandstone (Nago F.)		Ke <sub>2</sub> 砂岩 (慶良間層の一部) Sandstone (Kerama F.)		
			K <sub>1</sub> 緑色岩類 (名護層の一部) Green rocks (Nago F.)		Ke <sub>1</sub> 緑色岩類 (慶良間層の一部) Green rocks (Kerama F.)		
			K <sub>0</sub> 砂岩及び泥岩 (湧川層) Sandstone & Mudstone (Wakikawa F.)				
			Yo <sub>1</sub> 緑色岩類 (与那嶺層) Green rocks (Yonamine F.)				
			Yo <sub>2</sub> 泥岩、粘板岩 (与那嶺層) Mudstone & Slate (Yonamine F.)				
			Yo <sub>3</sub> チャート類 (与那嶺層) Chart (Yonamine F.)		To <sub>1</sub> 石灰岩類 (渡名喜層) Limestones (Tonaki F.)		
			Na <sub>1</sub> 石灰岩 (与那嶺層、今帰仁層、本部層) Limestone (Yonamine F., Nakijin F. & Motobu F.)				
			Na <sub>2</sub> 緑色岩、泥岩、チャート等 (今帰仁層) Green rocks, Mudstones & Chart etc. (Nakijin F.)				
中生代 Mesozoic	石垣層群 Ishigaki group		F <sub>4</sub> 砂・泥互層 (富崎層) Alternation of Sandstone & Mudstone (Fusaki F.)				
			F <sub>3</sub> 砂岩類 (富崎層) Sandstone (Fusaki F.)				
			F <sub>2</sub> チャート類 (富崎層) Chart (Fusaki F.)				
			F <sub>1</sub> 砂岩、礫岩 (富崎層) Sandstone & Conglomerate (Fusaki F.)				
			Tm <sub>4</sub> 緑色片岩 (トムル層) Green Schist (Tomulu F.)				
			Tm <sub>3</sub> 黒色片岩 (トムル層) Black Schist (Tomulu F.)				
			Tm <sub>2</sub> 溶岩類 (トムル層) Lavas (Tomulu F.)				
			Tm <sub>1</sub> 溶岩類 (トムル層) Lavas (Tomulu F.)				
			Wa <sub>1</sub> 砂岩及び泥岩 (湧川層) Sandstone & Mudstone (Wakikawa F.)		To <sub>1</sub> 砂、泥岩、チャート等 (渡名喜層) Sand, Mudstone & Chart etc. (Tonaki F.)		
			Yo <sub>1</sub> チャート類 (与那嶺層) Chart (Yonamine F.)				
	Na <sub>1</sub> 石灰岩 (与那嶺層、今帰仁層、本部層) Limestone (Yonamine F., Nakijin F. & Motobu F.)						
	Na <sub>2</sub> 緑色岩、泥岩、チャート等 (今帰仁層) Green rocks, Mudstones & Chart etc. (Nakijin F.)						
資料: 沖縄県(1983) 土地分類基本調査 「沖縄本島中南部」 沖縄県(1984) 土地分類基本調査 「沖縄本島北部」		沖縄県(1984) 土地分類基本調査 「宮古地域」 沖縄県(1985) 土地分類基本調査 「石垣地域」		沖縄県(1986) 土地分類基本調査 「沖縄本島周辺離島」 沖縄県(1987) 土地分類基本調査 「西表島地域」			
沖縄県(1988) 土地分類基本調査 「本島北部及びその周辺離島」							
	活断層 Active fault		推定活断層 Inferred active fault		琉球石灰岩基底面等高線 (m) Contour of Ryukyu limestone basement (m)		
出典: 活断層研究会編(1991) (新編) 日本の活断層			出典: 沖縄県土地分類基本調査				

出典: (社) 全国国土調査会: 土地保全図(沖縄県) 平成6年

# 調査平面図

## 読谷村字座喜味地区 S=1/1,000



### 凡例

ボーリング箇所	●
既存ボーリング箇所	●

X=43850  
Y=24300

Y=24650  
X=4

X=43715.284  
Y=24312.182

X=43713.651  
Y=24612.180

X=43600  
Y=24300

X=4  
Y=24650

【推定土層断面図】

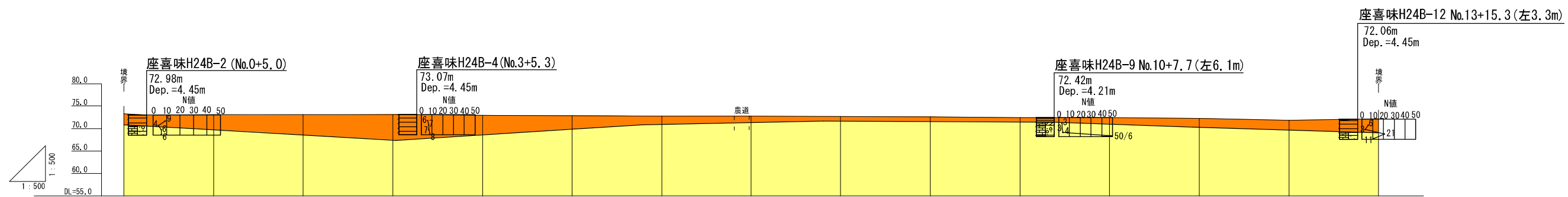
読谷村字座喜味2901-1

### 推定土層縦断図

S: V=1/1,000  
H=1/1,000

凡例

- F 埋土 (粘性土～砂礫)
- Dc 洪積粘土
- Dg 砂礫 (未固結琉球石灰岩層)
- 掘削形状
- 経層探査ライン
- 不発弾埋没深度 (GL-4.0m以深は表記なし)



勾配															
計画高															
地盤高	73.246	73.130	73.056	73.132	72.913	72.885	72.769	72.744	72.679	72.574	72.418	72.411	72.257	71.808	72.199
追加距離	0.000	20.000	40.000	60.000	80.000	100.000	120.000	140.000	160.000	180.000	200.000	220.000	240.000	260.000	280.000
単距離	0.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000
測点番号	No.0	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14

業務名	広域探査免掘加速化事業測量土質調査業務 (本島地区H24-1)		
図面名	推定土層縦断図		
作成年月日	平成24年 6月		
縮尺	S: V=1/1,000 H=1/1,000	図面番号	-
会社名	上城技術情報株式会社		
事業者名	沖縄県知事公室 防災危機管理課		

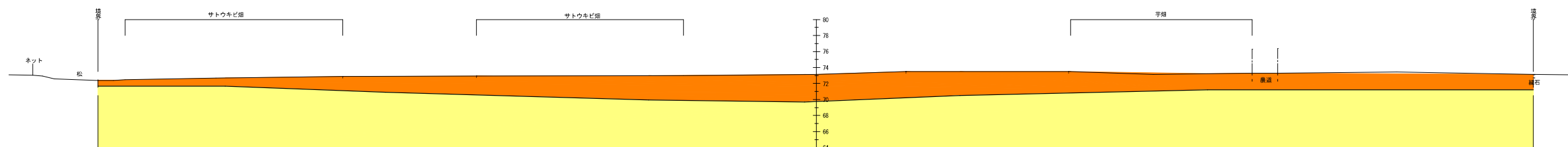


# 推定土層横断図(1)

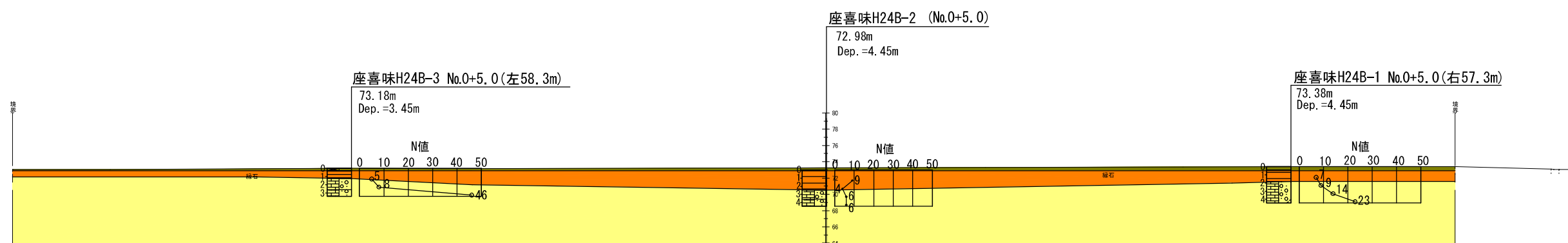
S: V=1/600  
H=1/600

凡例

- F 埋土 (粘性土~砂礫)
- Dc 洪積粘土
- Dg 砂礫 (未固結琉球石灰岩層)
- 掘削形状
- 経層探索ライン
- 不発弾埋没深度  
(GL-4.0m以深は表記なし)



NO. 1  
GH=73.130  
FH=



NO. 0  
GH=73.250  
FH=

業務名	広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務 (本島地区H24-1)		
図面名	推定土層横断図(1)		
作成年月日	平成24年 月		
縮尺	S=1/600	図面番号	
会社名	上城技術情報株式会社		
事業者名	沖縄県知事公室 防災危機管理課		

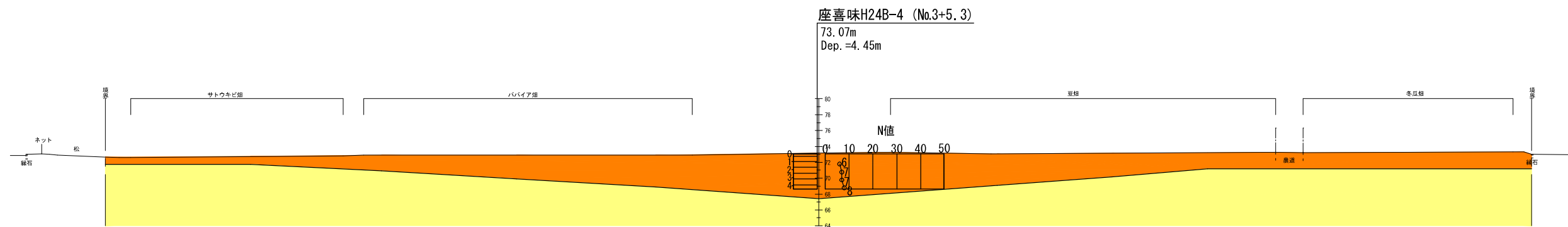
読谷村字座喜味2901-1

# 推定土層横断図(2)

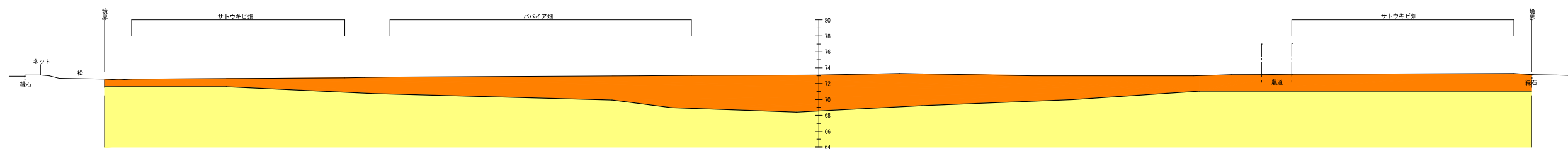
S: V=1/600  
H=1/600

凡例

- F 埋土 (粘性土～砂礫)
- Dc 洪積粘土
- Dg 砂礫 (未固結琉球石灰岩層)
- 掘削形状
- 経層調査ライン
- 不発弾埋没深度 (GL-4.0m以深は表記なし)



NO. 3  
GH=73.132  
FH=



NO. 2  
GH=73.056  
FH=

業務名	広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務 (本島地区H24-1)		
図面名	推定土層横断図(2)		
作成年月日	平成24年 6月		
縮尺	S=1/600	図面番号	
会社名	上城技術情報株式会社		
事業者名	沖縄県知事公室 防災危機管理課		

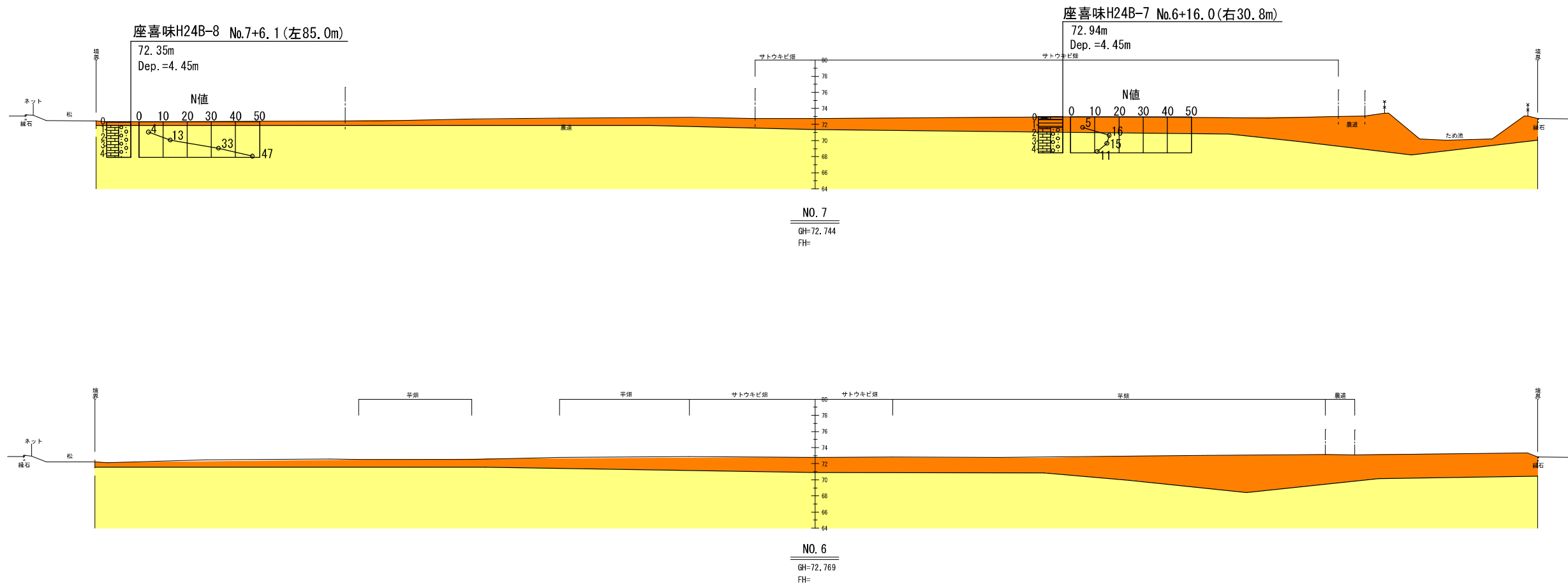


読谷村字座喜味2901-1

# 推定土層横断図(4)

S: V=1/600  
H=1/600

- 凡例
- F 埋土 (粘性土~砂礫)
  - Dc 洪積粘土
  - Dg 砂礫 (未固結琉球石灰岩層)
  - 掘削形状
  - 経層探査ライン
  - 不発弾埋没深度 (GL-4.0m以深は表記なし)



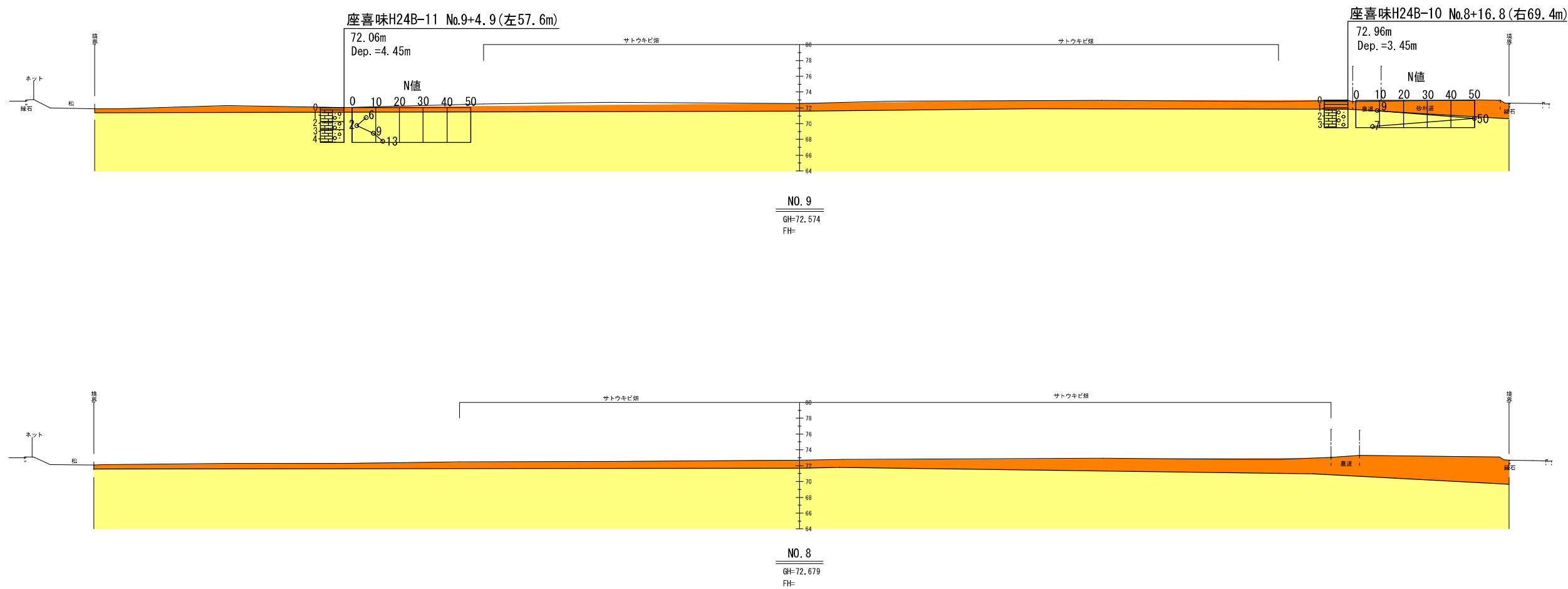
業務名	広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務 (本島地区H24-1)		
図面名	推定土層横断図(4)		
作成年月日	平成24年 6月		
縮尺	S=1/600	図面番号	
会社名	上城技術情報株式会社		
事業者名	沖縄県知事公室 防災危機管理課		

読谷村字座喜味2901-1

### 推定土層横断図(5)

S: V=1/600  
H=1/600

- 凡例
- F 埋土 (粘性土～砂礫)
  - Dc 洪積粘土
  - Dg 砂礫 (未固結琉球石灰岩層)
  - 掘削形状
  - 経層探査ライン
  - 不発弾埋没深度  
(GL-4.0m以深は表記なし)



業務名	広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務 (本島地区H24-1)		
図面名	推定土層横断図(5)		
作成年月日	平成24年 6月		
縮尺	S=1/600	図面番号	
会社名	上城技術情報株式会社		
事業者名	沖縄県知事公室 防災危機管理課		

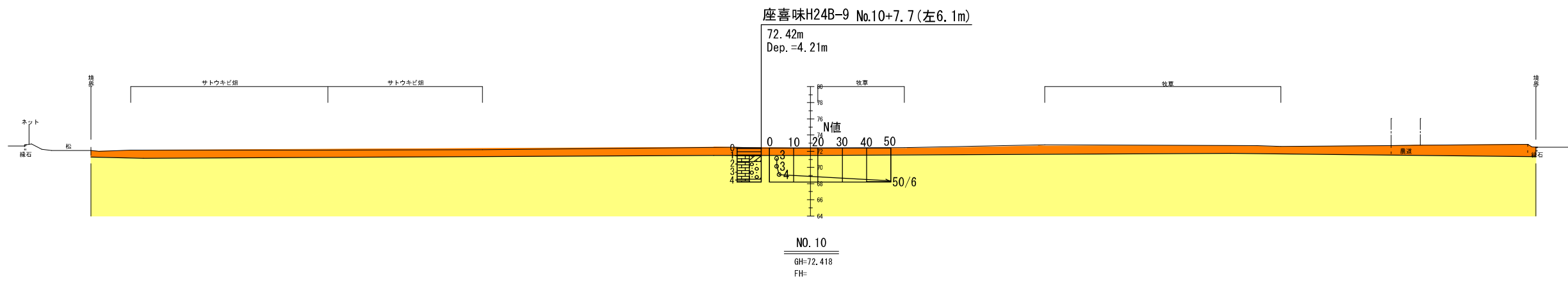
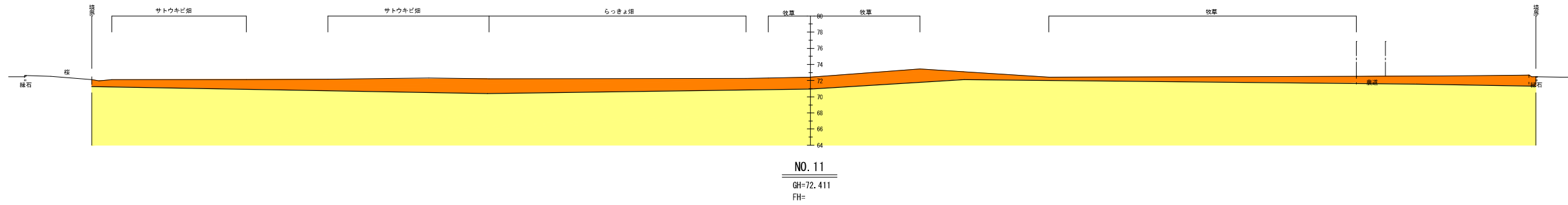
読谷村字座喜味2901-1

### 推定土層横断図(6)

S: V=1/600  
H=1/600

凡例

- F 埋土 (粘性土~砂礫)
- Dc 洪積粘土
- Dg 砂礫 (未固結琉球石灰岩層)
- 掘削形状
- 経層探索ライン
- 不発弾埋没深度 (GL-4.0m以深は表記なし)



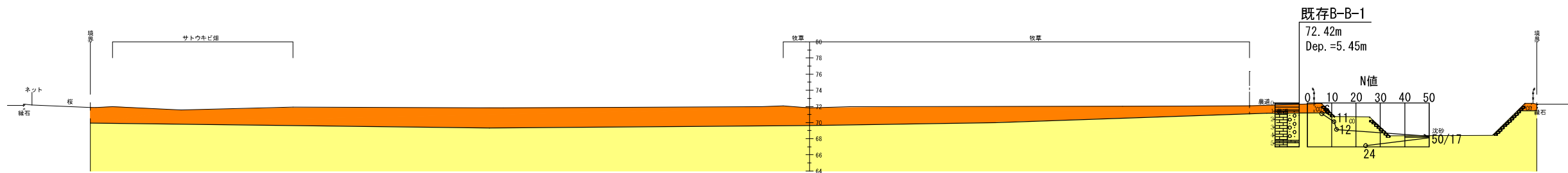
業務名	広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務 (本島地区H24-1)		
図面名	推定土層横断図(6)		
作成年月日	平成24年 6月		
縮尺	S=1/600	図面番号	
会社名	上城技術情報株式会社		
事業者名	沖縄県知事公室 防災危機管理課		

読谷村字座喜味2901-1

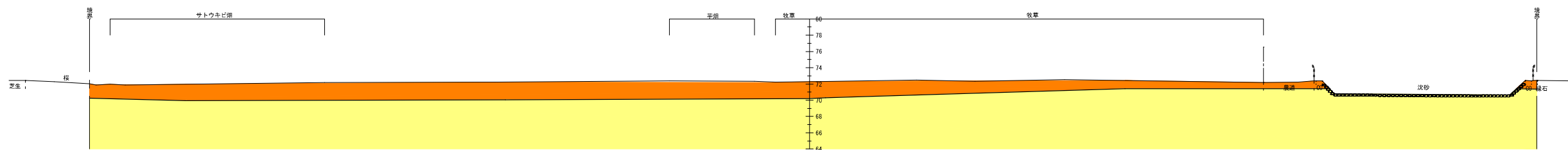
### 推定土層横断図(7)

S: V=1/600  
H=1/600

- 凡例
- F 埋土(粘性土~砂礫)
  - Dc 洪積粘土
  - Dg 砂礫(未固結琉球石灰岩層)
  - 掘削形状
  - 経層探査ライン
  - 不発弾埋没深度  
(GL-4.0m以深は表記なし)



NO. 13  
GH=71.808  
FH=



NO. 12  
GH=72.257  
FH=

業務名	広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務 (本島地区H24-1)		
図面名	推定土層横断図(7)		
作成年月日	平成24年 6月		
縮尺	S=1/600	図面番号	
会社名	上城技術情報株式会社		
事業者名	沖縄県知事公室 防災危機管理課		

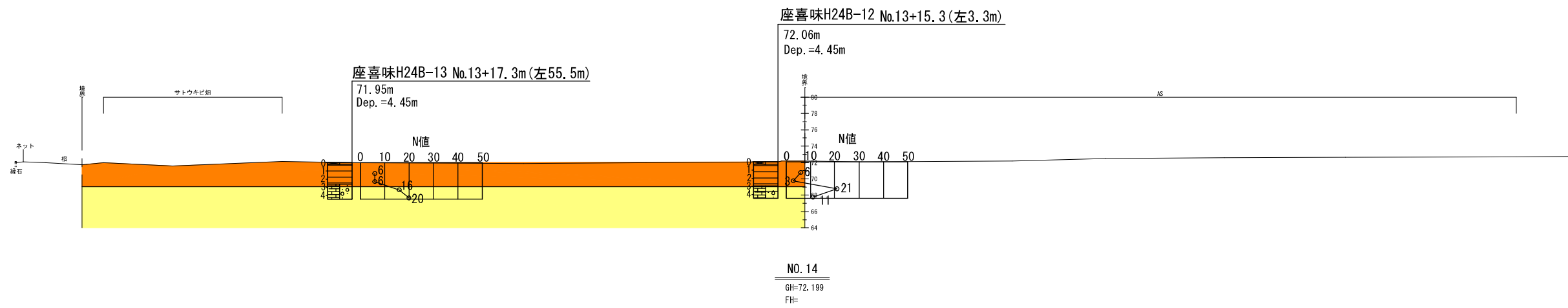
読谷村字座喜味2901-1

# 推定土層横断図(8)

S: V=1/600  
H=1/600

凡例

- F 埋土 (粘性土～砂礫)
- Dc 洪積粘土
- Dg 砂礫 (未固結琉球石灰岩層)
- 掘削形状
- 経層探索ライン
- 不発弾埋没深度 (GL-4.0m以深は表記なし)



業務名	広域探査発掘加速化事業測量土質調査業務 (本島地区H24-1)		
図面名	推定土層横断図(8)		
作成年月日	平成24年 6月		
縮尺	S=1/600	図面番号	
会社名	上城技術情報株式会社		
事業者名	沖縄県知事公室 防災危機管理課		



【ボーリング柱状図】



























